

みんなのひろば

今月の
テーマ

わが家のお雑煮



元旦に 包丁は使わない

あんもち白味噌ですが、一緒に入れるのは人参と大根の輪切りにしたもののみです。大晦日から切ってタッパーに入れて準備しておきます。結婚した時に義母に「お正月から包丁を使うもんじゃない」と言われて今も実行しています。全く使わないのは無理なので使っていますが、みんなで食べてよい年でありませうように。

(三豊市 プーママさん 50代)

衝撃の「あん餅雑煮」

わが家は「白みそあん餅」です。実家はすまし汁だったので、初めての時は衝撃でした。ひと口、食べるのにも勇気がいったこと、私が食べる様子を夫やお義父さん、お義母さんが息をのむように見ていたのを思い出します。今はお正月の楽しみだけではなく、あん餅が手に入ると作ってしまうほどです。野菜たっぷり(大根、人参、白菜、里芋等)がわが家流です。

(高松市 いねむりおばさん 50代)

娘婿が深入りしています

広島に住んでいる娘婿、20年前のお正月、あん餅雑煮をおそろおそろ食べ感動し、以後あん餅雑煮に深入りしています。私の息子、娘は食べません!私達夫婦は7日間位は連続食べられます。あんは小豆を氷砂糖で炊いています。とてもおいしいです。

(さぬき市 オカチャンさん 70代)

本当は食べたい

結婚して同居をするまでは白みそあん餅派。白みそとあんが混ざっておいしかったこと思い出します。同居して、ストレスなのか、お雑煮のあんを受け付けなくなりました。本当は食べたいのですが。

(高松市 Tさん 40代)

家族の好みに合わせて

香川育ちの私は、白みそ、あん餅、大根、人参、きのこ類を入れて作ります。男性はあんが嫌いなので白餅、愛媛育ちの息子はダメ。大根、人参、その他だし汁を多く作っておきます。白みそは時間が経つとねばっとしておいしくないの、食べる人数分だけみそを入れたり、醤油にしたりします。人数が多いと大変なので便利です。

(まんのう町 泉田さん 70代)

ご近所さんと楽しく手作りみそ

さぬきの定番、白みそあん餅派です。毎年、11月中旬よりご近所さんと白みそ作りから準備が始まります。久しぶりに会う人もいて近況報告から口八丁手八丁で楽しく作っています。2月の赤みそ作りの時は、白みそのお雑煮報告会になっています。

(三豊市 カントリーママさん 50代)

両家のミックス雑煮

私は生まれも育ちも香川、主人は神奈川生まれで大阪育ち。お雑煮も少し変わっていて、鶏もも肉や里芋が入ります。最初はむつごいんじゃないかなと思いましたが、鶏のいい出汁が出てとてもおいしいので、結婚後は両家のミックスお雑煮を作っています。具材は、大根、人参、鶏もも、里芋とあん餅です。近所の市の手作り白みそで味付けします。31日に鍋いっぱい炊き、三が日で食べてしまいます。私は年越しそばならぬ、このおつゆで煮込みうどんをしています。

(まんのう町 吉野さん 50代)

父が台所に立つ3日間

実家の雑煮は、白みそあん餅です。代々、一家の主が正月三が日の朝に作ります。唯一、父が台所に立つ貴重な?珍しい?3日間です(笑)。

(高松市 かずさん 40代)

お腹に入ったら 一緒だけど...

あん餅大好きな主人と、大の苦手な私。主人のお椀に白みそあん餅雑煮、私は白みそ雑煮と別皿にあん餅を盛り付けデザートとして食べます。お腹に入ったら一緒かもしれませんがゆずれません(笑)。

(高松市 クリーナーさん 30代)



香川の人と 結婚してワクワク

わが家は私の出身、徳島のお雑煮で、合わせみそ+白もち+大根(人参、芋などの野菜)です。香川の人と結婚してあん餅雑煮を食べるかなとワクワクしていましたが、すまし+白餅でちょっとがっかり。香川でも地域によって違うんですね。あん餅雑煮、食べてみたいです。

(高松市 高橋さん 40代)

父より母の影響で

我が家ではあん餅と白餅の2種類の雑煮が別鍋で作られていました。今から半世紀も前!東讃では今ほどあん餅雑煮が知られておらず、高松出身の父は、「これがない」と口グセのように言っていました。母の影響は大きく、子どもたちはあまり雑煮を口にしませんでした。今思うと、食べずにいたことが残念です。

(東かがわ市 ひなばあばさん 60代)

教えてください

3月号のテーマ
「お弁当」



- 私のお弁当自慢
- 初めてのお弁当づくり
- 寝坊しても安心!なお助け 冷凍食品や定番おかず
- 思い出のお弁当など



写真の投稿もお待ちしております。左のQRコードを読み取り、写真を添付し、お名前を入力の上、送信してください。

(丸亀市 後藤さん)



リク

歴代の担当さんに吠えたり、脱走して保護してもらったりした愛犬リクが、へび?にかまれ出血が止まらず亡くなりました。16年半お世話になりました。

今年8月に亡くなった愛犬「龍馬」の油絵を高校生の娘が描きました。幼稚園の時から一緒に育った愛犬。離れがたい気持ちで描いたようです。



絵です! こちらは写真

ミニチュアダックスフンドを、息子が幼身の時から育てていましたが、子どもがでぎ、少しの間と預かってもう5年、我が家の住人に、すこかわいいですよ。癒しですね。お金がかかるけど、その分いろんなものもらってますよ。

(丸亀市 ひまわりさん)

「プリンセスプーちゃん」、岡山で段ボール箱に捨てられていたのを、瀬戸大橋を渡り我が家へ来て17年。今は目もお耳もかなり悪いですが、お散歩が大好きでちょっぴりはねて歩くんですよ。長生きして欲しいです。

(三豊市 プーちゃんママさん)

以前利用していた時の班名が愛犬からとって、「ももちゃん」でした。その時の担当さんが、「うちの子どもも名前も、ももちゃんです」と教えてくれました。今は大きく成長されたことでしょうか。担当さん、元氣にお仕事されていますか?残念ながら顔を思い出すことが出来ませんけれども...

(普通寺市 ふーちゃんさん)

2018戌年

わが家の愛犬

